
♂ → ♀

クロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

♂
↓
♀

【Nコード】

N7348U

【作者名】

クロ

【あらすじ】

はい、注目。

俺、成堂 芽依は普通の男子高校生でした。

。なのに、あんな所に行かなければ、こんな事にはならなかった。

第一章　？此処って、これって。

「????」「ふう、最近ついてないな。」

俺は成堂　芽依。

よく女と間違えられるが、俺は男だ。

確かに背格好は女みたいだが、大事なこともなのもう一度言う、俺は男だ。

隣町まで散歩しながら歩いてたら気を失って、つてとこまではかるうじて覚えてるんだが。

なのにこの状況、どうしてわかってくれないのか、誰かこいつ等に説明してやってくれ、いや変わってくれこの状況。

男「久々の上物だな。」

男2「サッサとやっちまおうぜ。」

親分っぽい奴「慌てんじゃねえよ、こんな森の中で何してたんだ。」

おお、これは話しが通じるお方ではないのか、いやまてまてここと町の中ではないのか、よし聞いてみよう。

芽依「ちよつと待て、ここは町の中なの」

親分っぽい奴「うるせえ、喋ってんじゃねえよ」

え、うん、ま、そうだよな、なんか涙出てきた。

男2「親分、こいつ泣いてますぜ」

まあ、こいつは無視しといて、さっきからやけに胸が重い、しかも髪が長くてウザい、どういふことなのだ、周りのことも確かめたくても目隠しがあって見えない。

男「しかし、こいつ泣きはするが騒がねえな、状況わかってんのか」

男2「確かに、裸にされてんのかな」

えっ、こいつらそっちの趣味の方たちなんですか。
やべえよ確実に掘られるよ。

第二章　？これは、いける。

ヤバい、誰かいらないのかよ。

「？？？」「力を使え」

芽依「誰だ。というか力ってなんだ。」

男「何いってんだ。」

「？？？」力を使え。お前ならわかるはず。」

体が熱い

なんだこの感覚

俺は知っている

芽依「天より使われしもの達よ、ここに集え」

男2「こいつ魔術師か」

親分っぽい奴「ヤバい、に　？　げ　？　？　？」

芽依「エンジェル　ドッカーン」

男「ダサっ　ネーミングセンス無さす　？ギャー」

芽依「よし目隠し取ってっと、おお俺って何か強くな。にしても声

がいつもより高いようなそれに肩が重たいナゼだ」

モニユ モニユ モニユ？

モニユ モニユ モニユ

モニユ モニユ モニユ

芽依「こ こ この感触は、お*＊いではないか、イヤイヤ俺って男だしありえないから、それに下もちゃんと・・・・・・・・」

ツル ツル ？ツル

ツル ツル ？ツル

ツル ツル ？ツル

芽依「な な ナイではないか。そっかおれ俺って芽依君から芽依ちゃんになったんだ。」

第三章　？なんで、俺なの

芽依は広い草原を歩いていた。

芽依「それにしても重いし疲れるし災難だな、特に胸が、そういえばさっきの声ってなんだったんだろ。」

???「ふ、ふ、ふ、お答えしよう、僕は神だぞ。僕っ娘だぞ。」

芽依「その僕っ娘の神様がどうして俺なんかに声をかけかけたんだ。」

神「訳あつて僕の権限を使って君をこの世界　レイナード　に呼んだんだ、それが声をかけた理由で、その訳つてのは僕の気まぐれなんだけどね。」

気のせいであつて欲しかった、そう俺はあの日散歩が終わった後に、彼女とデートだったのだ。

はい、すいません嘘つきました、彼女は彼女なんだけど二次元なんです。しかし、俺にとってはとても大切なデートだったのだ。どれだけ大事かというと、親のヘソクリを見つけるぐらい大事だった訳で。

それを、こいつは

芽依「こ・・・やる」

神「え、なんていったの、こんな可愛くして最高の世界に來させてくれたお礼なんていらないよ。」

芽依「こ・ろ・し・て・や・ると言っただ。」

芽依はそう言うと、落ちていた石を拾い神に殴りかかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7348u/>

♂ → ♀

2011年7月20日00時48分発行